

(1) ICT活用計画及び達成状況を踏まえたフォローアップ計画

各年度におけるICT活用の目標値及びその達成状況を踏まえたフォローアップの内容について記載する。

○各年度におけるICT活用目標

■ICT活用について

年度	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
令和2年 本年度	【端末整備】小学1年生～中学3年生：Chromebook (小学6年、中学3年優先的に整備) 【目標】整備後、各クラス週1回以上～月1回程度活用								
令和3年	【目標】各クラス1日1回以上活用 ※単なるネットで調べ物をするだけに使うのではなく、授業支援ソフトを利用した授業とする。								
令和4年	【目標】各クラス1日2回以上活用 ※単なるネットで調べ物をするだけに使うのではなく、授業支援ソフトを利用した授業とする。								
令和5年以降	【目標】各クラス1日3回以上活用 ※単なるネットで調べ物をするだけに使うのではなく、授業支援ソフトを利用した授業とする。								

■臨時休校や分散登校期間中等におけるICTを活用したオンラインによる学習支援

- ・Zoom (Web 会議システム) を利用した朝の会を実施する。(1学級10分程度)
- ・授業支援ソフト等を用いて課題の配信・回収・レビューを実施できるよう、令和3年度当初予算に予算計上を行う。
- ・ネット環境や端末等がなく、オンライン学習ができない児童生徒については、学校へ登校していただき、担任がオンライン配信をしながら、密を避けて教室で授業を受けることも可能にしておく。(さらに、学校への登校を望まない児童生徒に対しては、学習プリント等準備し対応することも想定する。また、家庭のネットにつなげる方法を記載したものを準備・配布し、家庭で設定していただく。)
- ・児童生徒に対して、教育センターHPに掲載されているオンライン動画についての視聴方法を周知するとともに、動画視聴が難しい家庭で、動画視聴を希望される家庭には動画データをDVDに保存したものを配付する。

○指導体制の強化や働き方改革（校務の効率化）への対応

【ICT 支援員 配置計画（案）】

		学級数 (R2)	学校規模	2019		2020		2021	
						本年度			
				4月より	8月より	4月より	整備後速やかに	4月より	
1	十市小	14	4				支援員B①	支援員B①	本務校
2	稲生小	8	2					支援員E③	
3	三和小	8	2					支援員C②	
4	大篠小	27	5					支援員B①	
5	日章小	10	3				支援員B①	支援員B①	
6	大湊小	6	1					支援員E①	
7	後免野田小	10	3					支援員A①	
8	長岡小	11	4				支援員A①	支援員A①	本務校
9	国府小	8	2					支援員B①	
10	久礼田小	8	2	支援員B⑤	支援員B⑤	支援員B⑤	支援員B③	支援員B②	
11	岡豊小	10	3				支援員A①	支援員A①	本務校
12	白木谷小	5	1					支援員E①	
13	奈路小	4	1	支援員A⑤	支援員A⑤	支援員A⑤	支援員A③	支援員A②	本務校
14	香長中	20	5					支援員C②	
15	香南中	4	1					支援員D①	
16	鷹ヶ池中	9	3					支援員D③	本務校
17	北陵中	8	2					支援員D①	
18	希望が丘分校	小1、中4	1					支援員D①	本務部署
19	事務局		5				支援員C⑤*	支援員C①*	

○「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」におけるICT支援員に係る目標水準【4校に1人配置】について

	学級規模	担当校数	備考
支援員A	11	4	ICT支援員経験者
支援員B	11	4	ICT支援員経験者
支援員C	15	2 (+1)	事務局対応含む
支援員D	7	4	
支援員E	6	4	
合計		18 (+1)	

- ・上記のとおり、2021年度までにICT支援員を5人配置（概ね4校に1名配置）
- ・2020年度より配置予定の「支援員C⑤*」は、他のICT支援員より専門の知識技能を有する者、もしくは学校の現状を熟知し、学校教育の中でのICT教育の現状をより把握している者を雇用。
- ・また、基本事務局内勤務とともに、以前より配置しているICT支援員とともに各校へ回りながら、少しずつ大篠小学校・香長中学校にも関わっていきけるようスモールステップで、必要に応じて各校へ派遣する。（ICT支援員研修会【年3回（4・7・12月）】の研修でも、ICT支援員へのサポートも行う。）
- ・さらに、2021年度5月より事務局勤務は週1日とする（4月は、事務局内の各種ICT機器、環境への対応）。また、年度が進む中で、必要な時に事務局での勤務とし、ほとんどを大篠小か香長中勤務に充てる。
- ・2021年度4月より配置予定の「支援員D③」と、2022年度より配置予定の「支援員E③」は、1週目：A校1日、B校2日とし、2週目：A校2日、B校1日勤務とする。（2週分で、2校と配置計画を立て配置する。）

【業務内容】

○GIGA スクール構想に係る小中学校への授業支援に資する。

- ①学級担任と打合せを行ったうえで、一人一台 PC を授業で効果的に活用することができるための質的準備を、学級担任の補助的・共同的に行う。
- ②授業準備及び授業中の教員・児童生徒への I C T 機器操作サポートを行う。
- ③小中学校プログラミング教育への支援を行う。

【教職員の働き方改革】

- ・デジタル教材を教員間で共有したり、授業では端末を使って児童に共有したりすることで、授業準備や授業中の負担を軽減。また、打合せや連絡を校務支援システム（グループウェア）上で実施することで校務の効率化を推進する。

○達成状況を踏まえたフォローアップ

- ・各年度終了後、各学校の活用状況を取りまとめ、目標未達成の学校については、目標未達成の背景・要因を探り、それらを踏まえた I C T 活用に関する研修を実施する。
- ・各年度の教員の I C T 活用指導力調査の結果を踏まえて、南国市の課題を基に、教員を対象とした研修を実施する。
- ・さらに、好事例を収集するシステムづくり、それら好事例を情報共有するシステムづくりに努める。（できることから。さらに、主体的・対話的で、深い学びの実現に向けて効果的であった事例を中心に）
- ・南国市 HP において、本計画だけでなく、年度末に各学校の活用状況を取りまとめて公表する。
- ・ICT 支援員研修にて、市教委が ICT 支援員からも学校の様子を情報収集する。そのための ICT 支援員の会を、年間 3 回の定例支援会以外に、長期休業に入る月初めに開催する。